

なかしゅんべつ

2009

4

No.375



第36回 通常総会開催

更なる飛躍と充実した活動に向けて

去る四月十日、中春別農協青年部（部長・猿谷忠義）では、第三十六回通常総会が開催されました。

開会に先立ち長年、青年部活動においてご尽力され今回、定年による脱退者の方に記念品の贈呈を行い、



生産資材などが今までに無い程の高騰を見せ、厳しい一年となりましたが生産調整も終わり、今年から増産へ

脱退者を代表して中春別地区の村井広美さんに猿谷部長より記念品が贈呈されました。

開会に当たり猿谷部長より「昨年は原油、

向けて明るい兆しが見えてきました。青年部活動においても部員一丸となり頑張つて行きましよう」と挨拶がありました。来賓を代表して農協・竹田組合長、中春別酪農対策協議会・望月会長



に祝辞をいただきました。

議長には豊原地区・中村貞志さんが選出され議事へ入り、議案第一号「平成二十年事業報告並びに収支決算について」、議案第二号「平成二十一年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について」、議案第三号「平成二十一年度会費の賦課及び徴収方法について」、議案第四号「役員改選について」以上第一号議案から第四号議案まで全て可決承認されました。

平成二十一年度中春別農協青年部役員につきまして

は以下の通りとなっております。新役員の皆さんを中心に今年度も活発な活動が期待されます。

- | | |
|-----|-------|
| 部長 | 石森 裕治 |
| 副部長 | 金子 琢哉 |
| 副部長 | 松井 和孝 |
| 理事 | 杉谷 康 |
| 理事 | 紫藤 有策 |
| 理事 | 兼松 真武 |
| 理事 | 高野 孝太 |
| 理事 | 千葉 悟 |
| 理事 | 真下 雅人 |
| 理事 | 片野 大介 |
| 理事 | 野矢 貴志 |
| 理事 | 尾形 徹 |



J A中春別女性部第35回通常総会開催

より一層魅力ある女性部活動へ

J A中春別女性部では、三月十日、第三十五回通常総会を団地センターにて部員三十一人が出席する中、J A運営への女性参画、J A女性部活動の促進を図る事を確認しました。



開会宣言の後、「J A女性部組織綱領」を全員で唱和し、青野部長より挨拶があり来賓を代表して農協・小湊副組合長、中春別酪農対策協議会・望月会長より祝辞をいただき議事へと移りました。

議長には、美原地区・林幸枝部員と同じく美原地区・浮川裕子部員が選出され、議案第一号「平成二十年度事業報告並びに収支決算に

ついて」、議案第二号「平成二十一年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について」、議案第三号「平成二十一年度会費の賦課並びに徴収方法について」、議案第四号「役員の変更について」執行部より提出され全て、可決承認されました。

平成二十一年度 J A中春別女性部の役員は以下の通りとなっております。

- | | |
|-----|-------|
| 部長 | 青野 美幸 |
| 副部長 | 畠山 友子 |
| 理事 | 久保 朋子 |
| | 斎藤 道子 |
| | 西原 珠美 |
| | 山田ひろみ |
| 監事 | 木原 幸枝 |
| | 宗像 初枝 |



長い歴史に幕を閉じた



豊原小学校



豊原小学校の歩み

- 昭和33年3月 床丹第二小学校として開校
- 昭和47年4月 町制施行に伴い豊原小学校と改称
- 昭和53年2月 開校20周年及び新校舎落成
- 平成20年11月 50周年記念式典
- 平成21年3月 閉校式典

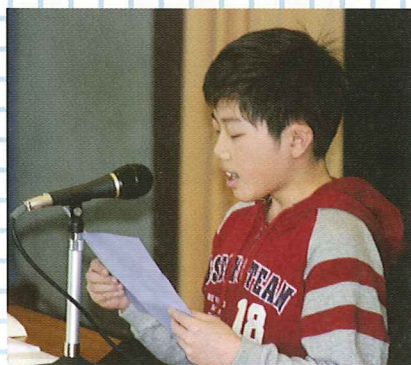


去る三月二十一日、美原小学校、三月二十二日、豊原小学校にて永きにわたり地域の方々を見守り育んだ両小学校の閉校式が在校生、教職員の方々を始め卒業生、地域の方々、関係者が集う中、挙行されました。思い出がたくさんつまつた校舎との別れを惜しむ方々が会場を埋める中、式が始まり卒業生の方々は、昨日のこのように当時を振り

豊原小学校・美原小学校



美原小学校



美原小学校の歩み

- 昭和37年1月 床丹第一小学校として開校
- 昭和47年4月 町制施行に伴い美原小学校として改称
- 昭和56年2月 開校20周年及び新校舎落成
- 平成21年3月 閉校式典、思い出を語る会

返り、廊下に展示された写真を見ながら幼い頃の自分を探し、久し振りに集まった仲間と思い出話しが尽きないといった様子でした。会場では、ピアノ伴奏に乗り校歌の斉唱。会場を訪れた方々の歌声が会場となった体育館に響きわたり、慣れ親しんだ学び舎との別れを惜しむように皆さん最後の校歌を斉唱しました。

永い間、地域を見つめ子ども達の成長を見守り続けた校旗が在校生代表より水沼町長へ返還され、永い歴史に幕を下ろしました。

四月より中春別小学校へ通うこととなる豊原・美原両小学校、在校生の皆さんは、慣れ親しんだ校舎と別れ新しい学校へ通う事に戸惑いや不安も多くあるでしょうが、今までの思い出を胸にこれからの小学校生活を思いっきり学び、遊び、楽しんでもらいたいと願っております。両小学校は閉校となりましたが、地域の皆さんの胸の中にはいつまでも色あせる事なくそして、今後も語り継がれることでしょう。

ピカピカの一年生
 中春別小学校入学式
**大きなランドセルを
 背負って初登校**



去る四月六日、中春別小学校では平成二十一年度入学式が開催されました。お父さん、お母さんに連れられ元気な新一年生が初登校しました。

豊原、美原小学校の閉校に伴い、区内内の小学校が統合となり初めての入学式が行われました。会場では、ご両親、生徒数も増え多くの在校生のお兄さん、お姉

さん、関係者が見守る中、元氣一杯に会場へ入学して来た新一年生。緊張している様子は全く感じられず笑顔での入場、我子の姿を記念に残そうとお父さん、お

母さん達もカメラ片手にお子さんを追っていました。

全校生徒での校歌斉唱では、大きな声で上級生と一緒に歌う新一年生、会場には大きな歌声が響いていました。

また、担任の先生よりひとり一人名前を呼ばれると、大きな声で返事をして



新しい環境に不安、戸惑いも無く元氣一杯。これからたくさんのお友達ができたらしいですね。

これから元氣一杯に小学校生活を満喫してもらいたいと思います。

一月より開講しましたみらい塾ですが、四月二日に第七回目の講座を団地センター研修室で開催されました。

これまで五回にわたって「農協とはどんなことをやっているの？」をテーマに農協各課の課長を講師として招き、農協業務内容の講座を開催いたしました。受講生は初めて聴く言葉に困惑しながらも、農協事業運営から日常の業務内容までの講義に熱心に耳を傾けていました。

代検定の概要と今、注目されている雌雄判別精液について講義を受け、遺伝的改良が農場経営において高い重要性をもっていることについて理解を深めました。

受講生の一人からは、みらい塾を受講している感想について、「この講座を受けたことで、今まで知るこ

地域のリーダー 目指して成長中！

みらい塾講座
技術研修へ

前回の講座からは技術的な内容に入り、酪農検定検査協会根室事業所において生乳検査業務の視察と生乳の成分が、商品として出荷される際の影響について学びました。

今回の講座では、普及センター斉藤普及員による乾乳期飼養管理について、受講生の農場の現状と比較しながら討議形式で講義が行われ、活発な意見交換がなされました。

また、午後からはジェネティクス北海道東事業所に場所を移し、後

との無かった知識を学ぶことが出来、充実したものになっている。ぜひ自分の農場で実践したい」と、熱い眼差しで語ってくれました。

今後の講義内容は時節に応じた内容で現地研修などを取り入れ、実践的な技術と知識の習得に向けて進めていく予定です。

十二月の修了式に向けて、地域の担い手として成長していく姿を随時報告していきたいと考えております。





新しい仲間のご紹介

中春別地区（平成農事組合）

小林亮平（りょうへい）さん（28歳）

藍（あい）さん（26歳）

音桜（ねお）ちゃん（3歳）

櫻介（おうすけ）くん（1歳）

広大な大地に夢を抱いて 家族も牛にも 無理のない酪農を目指して

亮平さんは群馬県の出身で、幼い頃に近所の農家に手伝いをしにいった思い出が忘れられず、酪農への憧れを持って一念発起し北海道へやってきました。

就農するまでは当農協のヘルパー利用組合にて八年間程勤務され、酪農の仕事を感じ勉強されておりました。その後、町営牧場での実習を経て、昨年度当地区へ新規就農されました。当地区の酪農と牧場風景を初めて見た亮平さんは「慣れない土地に対しての不安は無く、当たり一面に広がる広大な大地にただただ驚いた」と当時の印象を懐かしそうに話してくれました。

出す自信がなく悩んでいたそうです。そんな時、奥さんに「思い切ってやってみては」の一言で背中を押され、一気に夢であった新規就農を決意できたというところで。

まだまだ精神的にも余裕がなく、毎日が農作業に追われる日々ですが、仕事が終わってホッとひと息ついた時に畑から見る知床連山の風景がとてども雄大で美しく、どんなに疲れていても癒される思いがするそうです。

最後に今後の目標についてお伺いしますと「今はまだまだいろいろと大変だが、家族で人にも牛にも無理のない経営をして行きたい」と話してくれました。

これからも初心貫徹、目標に向かって家族みんな力を合わせ頑張ってください。



人も牛も無理をせず、ゆとりをもつて

前回ご紹介しました豊原地区・斎藤達也さんのご紹介で、今回は中春別地区・寺澤佳吾さんをご紹介します。

佳吾さんは、昭和六十年七月二十一日、父・信さん、母・静江さんの三男として誕生し中春別小・中学校を卒業後、駒澤大学付属岩見沢高校へ進学されました。高校卒業後は、酪農学園大学へ進学し昨年、大学を卒業されたと同時に家業へ就かれました。

子供の頃は牛舎が遊び場で、いつも子牛にミルクをやるなどしながら牛舎で過

ごしていたそうです。小学

校へ入学し野球を始めたころより日夜、野球漬けの毎日。牛舎から足も遠のいてしまいました。小学校、中学校と野球を続け、高校進学の際には野球推薦を受け駒大岩見沢高校へ進学され、地元を離れての寮暮らしとなり今まで以上に野球漬けの毎日。当時を振り返って「三百六十五日野球漬けの毎日、慣れない寮生活をしながら野球を通し、とても人間的に成長する事が出来た」と話してくれました。

ポジションは内野手で、現在でも草野球チームに入り野球を続けているそうです。

高校三年生のとき部活も引退し小学校からの野球漬けの毎日が終わり、進路について考える機会が増えた頃から家業を継ぎたいと思うようになってきました。高校卒業後には「将来は家業を継ぐ」という目標を胸に酪農学園大学へ進学し、大

学の長期休暇の際には家業の手伝いを本格的に始め、卒業後に家業に就かれました。

「牛をしつかり見ながら仕事をすることが大事」と、ご両親からのアドバイスを受け見よう見まねで、毎日、仕事に励み「まだまだ勉強中だが、これからは頑張りたい」と話してくれました。将来の目標については、牛も人も無理せずゆとりをもって頑張りたいとの事です。佳吾さんの今後の活躍が楽しみです。

今回は、佳吾さんのご紹介で、美原地区の尾形徹さんをご紹介します。



中春別地区 寺澤 佳吾さん (23歳)



ちょっとした事から改善を

青年部・同志会合同勉強会

去る三月二十七日、中春別農協青年部（部長・猿谷忠義）では中春別乳牛改良同志会（会長・山田博和）と合同で、乳房炎防除に関する勉強会を開催致しました。

当日は、トータルハードマネージメントサービスの佐竹獣医師を講師にお招きし青年部、同志会の方々が参加し開催致しました。

講習会では、形状のよい乳頭と悪い乳頭の違いや、前搾りをする事によってホルモンの分泌を促進し、乳量が増えると共に乳房炎の原因である過搾乳を防ぐとともに、搾乳時間の短縮が狙えると実際のデータに基づき説明がされ、参加された皆さん

は直接経営に反映される重要なテーマということもあり真剣な表情で聞き取って設けられた質問タイムでは、皆さん積極的に質問され有意義な勉強会となったのではないのでしょうか。

講習会終了後は、食事を囲みながらの懇親会が行われ親睦を深めました



畜舎ひと工夫で牛のストレスを解消!

中春別振興会勉強会



マットなど身近な物から牛がストレスを発生しないような畜舎に改善することで、分娩後の乳量の増加や疾病の減少につながることを説明がありました。牛舎内のほんの小さな工夫一つで、ストレスを与える事を無くすことによって、分娩後の乳量の増加、疾病の減少につながるなど経営に直結したテーマという事もあり、参加された皆さんは真剣な表情で講師の方の話に耳を傾けておりました。

去る三月十三日に中春別振興会による勉強会が開かれました。乳牛の移行期管理をテーマとし、全国農業協同組合連合会・末川正彦氏を講師に招き、会場となりました中春別会館には多くの振興会会員の皆さんが出席される中、勉強会が開催されました。





美原地区

岩 浅 昌 宏さん(38歳)

福 子さん(29歳)
(旧姓 川添)



豊原地区

野 矢 貴 志さん(29歳)

昌 子さん(28歳)
(旧姓 篠田)

ご結婚おめでとぅございます

昨年、地区内でご結婚された一組のカップルをご紹介します。

福子さんは長崎県出身で、実家が肉牛を飼育していたという事もあり、幼い頃より牛と接する事も多かった事から、酪農にも興味を持っていました。高校在学中に先生の紹介で、同じ長崎県出身の豊原地区・奥山秀幸さんのお宅を紹介され、高校卒業と同時に実習生として中春別へ来ました。全く知らない土地に来る事に対し、「不安や戸惑いはありませんでしたか?」とお聞きしたところ、「全

お二人は友人の紹介を通じて知り合いました。お互いの第一印象をお伺いしますと、貴志さんは「体が弱そう:」。昌子さんは「可愛い」だったとのこと。その後、何回か会っていくうちに次第にお互い意気投合し、交際が始まりました。その後、お互いに生涯の伴侶として結婚を意識するようになり、昨年目出度くゴールされました。奥さんの昌子さんは中学

くありませんでした」と笑顔で応えてくれました。それは実習先の奥山さん家族が皆さん気さくな方達で、とても居心地が良く、「不安を感じなかったのは受入先の奥山さん家族に恵まれたからだと思います」と、当手を振り返って話してくれました。

校の教諭をされており、今は別海町教育センターに勤務し、休日は家事に家業にと頑張っています。結婚当初は慣れない作業に戸惑い、体もきつく物を運ぶにも一苦労だったそうですが、貴志さんの的確なアドバイスのおかげで、今ではだいぶ慣れて来たそうです。朝起きるのがちよつとつらい時もあるようですが、起きてみれば「空気が澄んでいて気持ちがいい」

りますかとお聞きしたところ昌宏さんは、少し悩みながらも「独身時代は、食事を取ったり取らなかったりと不規則になりがちだった食生活が、結婚してからのいつもの規則正しく食事を取るようになり体の調子が良い」と幸せそうに答えてくれました。

と話してくれました。また、牛に一头一頭名前を付けながら、楽しく仕事に取組んでいます。二人の共通の趣味は散歩との事で、時間があればいつも二人で出かけられるようです。今後は、よく働きよく学び、ゆとりを持っていつまでも仲良く暮らして行きたいと笑顔で話してくれました。

WTO・EPA つぼの壺



●G8農業団体首脳会合の結果概要(ローマ開催)●

平成21年3月18～19日にイタリアのローマで、「G8農業団体首脳会合」が開催されました。JAグループからはJA全中茂木会長が参加し、食料安全保障の確立について議論を行いました。当会合は、今年の4月18～20日にイタリア北部で開催される「G8農相会合」の先行会合として開催されたものです。今月号では、このG8農業団体首脳会合の結果概要をお伝えします。

参加国	カナダ	フランス	ドイツ	イタリア	日本	ロシア	イギリス	米国
G8農業団体会合								
G8農相会合								

「G8農業団体首脳会合」と「G8農相会合」はどんな関係があるの？

3月開催 <G8農業団体首脳会合>

政府のG8農相会合が行われる先行会議として、G8の農業団体で開催された会合。当会合で採択された共同宣言は、政府のG8農相会合に提出されることになっています。

4月開催予定 <G8農相会合>

食料安全保障の確立などの問題について、初めて政府間で議論される会合。事前に行われたG8農業団体首脳会合の共同宣言についても取り扱われる予定。

各国農業団体首脳の発言概要

カナダ

経済危機の教訓から、市場を完全に自由にするのは間違い。食料への投機は排除すべき。人間の安全保障の観点から、食料主権を検討すべき。

フランス

農業には適切な規制が必要であり、全面自由化の考え方は投機が目的である。FAOは重要な役割を担っている。WTOはマンデートを見直すべき。

ドイツ

これまで農業者は大企業の犠牲になってきたが、環境に貢献する循環型産業は農業だけ。農業者保護を国の政策に位置づけるべき。

イタリア

農産物の質と価格が安定するよう新たな時代環境を踏まえ、消費者がしわ寄せを被らない透明な政策が必要。途上国の声を一層反映させるべき。

日本

経済危機を教訓とし、市場での政府の適切な役割発揮や新たな規制システムの再構築を通じ、社会全体のあり方を転換していく必要。

ロシア

食料危機の教訓を踏まえ、国際レベルで価格安定基金を創設するなど、国際協調を行うべき。農業団体にも対話や情報交換の場が必要。

イギリス

持続可能な農業を確立する必要。非貿易的関心事項に配慮する必要があるが、輸出制限等に対処するためにも貿易交渉は継続する必要。

米国

ドーハ交渉は各国の許容範囲を超えた議論である。人口増加の対応にも食料増産が必要で、また農業生産を通じて自然環境の保全がはかられるべき。

G8農業団体首脳会合共同宣言(概要)

- 経済危機のなか、農業を戦略的分野とする必要。国内生産の増大に向けて、各国政府は明確な指針を示し、農業者にインセンティブを与えることが重要。
- 食料を単純に他の商品と同様に考えてはならない。
- 規制のない市場の力は、農業者に受け入れ難い調整コストをもたらす。
- 多様な農業が共存する必要があり、貿易自由化は漸進的アプローチが取られるべき。



※全中ホームページ「WTO・EPA関係」内でもご覧になれます。アドレスは<http://www.zenchu-ja.or.jp>

第13回 理事会のうごき



平成二十一年三月三十日(月)

議案

- 一、平成二十年度十二月末定期監査に伴う整備改善事項の回答について
- 二、平成二十一年度役員と組合の取引基準の設定について
- 三、不祥事対応要領の一部改正について
- 四、平成二十一年度信用供与等の限度額の設定について
- 五、平成二十一年度貸付金利率の最高限度の設定について

報告事項

- 一、組合員加入について
- 二、職員の退職について
- 三、固定資産取得明細について
- 四、平成二十一年度理事報酬額の諮問に対する答申について
- 五、平成二十年度JAバンク農業生産資材高騰対策利子助成事業について
- 六、配合飼料価格情勢について

以下、原案通り承認

以下、原案通り承認

- 六、平成二十年度自己査定に係る債務者区分判定方法について
- 七、平成二十一年度農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
- 八、良質乳生産環境整備対策事業(案)について
- 九、訪問介護・介護予防サービス利用料金の改定及び新規加算について
- 十、平成二十一年度乳牛府県追跡動向調査について
- 十一、平成二十年度期末賞与の支給について
- 十二、平成二十一年度職員給与の定期昇給について
- 七、免税軽油・営農灯油に係る利用奨励要領の一部改定について
- 八、実施棚卸及び棚卸資産再評価要領の制定について
- 九、平成二十年度決算棚卸実査について
- 十、平成二十年度二月末営農生産関連実績について
- 十一、平成二十年度畜産担い手育成総合整備事業(再編基盤型)に係る自己負担の精算について
- 十二、平成二十年度糞尿利用草地整備事業に係る自己負担金の精算について
- 十三、平成二十年度国産飼料資源活用促進総合対策事業に係る自己負担の精算について
- 十四、酪農飼料基盤拡大推進事業に係る精算払いについて
- 十五、平成二十一年度(前期)JA中春別選定種雄牛について
- 十六、共和牧場預託牛の事故に対する互助会規程による見舞金の支払いについて

2月 乳質乳価一覽表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支乳 乳価	前 期	年 差	
乳脂肪分		723.713		29.59	26.98	2.61	
無脂乳固形分		458.472		40.27	36.41	3.86	
補給金		5.0912		5.09	4.19	0.9	
計画チーズ奨励金							
乳 質 単 価	生菌数	ランク1	2	286,645,924.2kg	3.76	3.74	0.02
		ランク2	0	5,166,395.7kg			
		ランク3	-3	234,774.7kg			
	体細胞数	ランク1	2	255,375,985.3kg			
		ランク2	1	20,093,600.7kg			
		乳質向上 特別対策	ランク1	-2			
合計				78.71	71.32	7.39	

2月分乳代支払単価

項目	単価(円)/kg	
乳脂肪分①	29円59銭	
無脂乳固形分②	40円27銭	
補給金③	5円9銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	4.09%
	農協	4.14%
無脂固形分率	全道	8.78%
	農協	8.71%
成分乳価 ①+②+③+④=⑤	全道	74円95銭
	農協	74円99銭
乳質乳価 ⑥	全道	3円76銭
	農協	3円76銭
乳代合計	全道	78円71銭
	農協	78円75銭
⑤+⑥	差異	0.4銭



ユキヤナギ(雪柳)

身近な樹木に触れ、名前を知り
自然ともっと仲良くなろう

ユキヤナギは落葉低木樹です。木の高さは1m~2mで、枝先が垂れ下がっています。生育場所は川岸の岸壁の割れ目や大雨で増水すると水没して濁流に洗われるようなところに生えています。分布は、本州(東北地方以南)、四国、九州、中国などです。

ユキヤナギの由来は葉がヤナギを、花が雪を思わせるところからつけられました。ユキヤナギの別名はコゴメバナ(小米花)といわれ、花を米粒に見立ててつけられました。

庭木、公園樹、切花など観賞用として植栽されている。繁殖方法としては挿し木、株分けがよいそうです。

5月に白色の花を2~7個をつけ、花弁は5枚です。

日本に自生するユキヤナギは栽培品が野生化したという説もあります。ユキヤナギはヤナギといいますが、ヤナギ科に属さず、バラ科に属します。



ニューフロンティアファームの樹木図鑑より転載・抜粋

編集後記

▼四月に入りがらりと外の風景も変わりだし、車を走らせていてもところどころ残っていた雪ももうすっかり溶けて、春の訪れを物語るふきのとうが、顔を出しています。木々も芽吹き緑色が目立つようになりました。

▼豊原・美原小学校の閉校式では、在校生をはじめ地域の方々、卒業生の皆さんが集う中、執り行われました。式に出席された皆さんは当手を振り返り思い出話しがつきなかつた事でしょう。

四月からは、中春別小学校へ通う在校生の皆さんは、不安と戸惑いもあるかと思いますが、勉強に遊びにと頑張つて欲しいと思います。

▼冒頭でも触れましたが、春の訪れとともに野生動物の活動も活発になってきております。エゾシカの急な飛び出しも目だつて来ておりますので、車を運転される方は充分にお気をつけて下さい。また、これから山菜採りのシーズンとなりますので、熊などにもお気をつけ下さい。